



十津川

「心身再生の郷」



【場所:十津川高等学校】

◎特集

「ここでいきる」



十津川高校～未来に繋ぐ新たな挑戦～

村民憲章

1. 私たちは 歴史と伝統を大切にしましょう
1. 私たちは 美しい自然を守りましょう
1. 私たちは 郷土の文化を高めましょう
1. 私たちは 豊かな人情を育てましょう
1. 私たちは 仕事に誇りを持って働きましょう

議会だより

第3回定例会

9月11日から13日の3日間、平成30年十津川村議会「第3回定例会」を開催し、各会計の決算認定、補正予算、工事請負契約の締結など各議案について慎重に審議しました。13日の一般質問では、5人の議員が村政全般について質問を行いました。
今回審議した内容は、次のとおりです。

報告

- 平成29年度十津川観光開発株式会社経営状況の報告について
村が出資している十津川観光開発株式会社の経営状況について報告を受けました。

- 平成29年度健全化判断比率等について
平成29年度健全化判断比率等について報告を受けました。

決算認定

- 平成29年度各会計歳入・歳出決算認定について
平成29年度の一般会計及び特別会計の決算について認定しました。

補正予算

- 平成30年度一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ1,368万1千円を追加し、総額を57億1,298万6千円としました。

- 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ324万8千円を追加し、総額を2億5,984万3千円としました。

条例改正

- 十津川村デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例の一部を改正する条例
神納川区の運行経路の追加及び西川区北部の運行を開始するため、条例の一部を改正しました。

- 十津川村税条例等の一部を改正する条例
地方税法の一部改正に伴い、村たばこ税の税率の引き上げ等、条例の一部を改正しました。

- 十津川村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
介護保険法の規定に準ずるため、主任介護支援専門員の定義に関し、条例の一部を改正しました。

- 十津川村過疎地域自立促進計画の変更について
森林の肉加工施設整備事業等を追加し、計画の一部を変更しました。

契約

- 工事請負契約の締結について
※契約の目的 中串残土処分場盛土及び水路整備工事(第3期)
※契約の方法
条件付一般競争入札
※契約の金額
2億6,060万2,920円
※契約の相手方
今西・太田特定建設工事共同企業体

意見書

大阪・関西における二〇二五年国際博覧会の誘致実現に向け積極的
に推進するよう求める決議案が提出され、全会一致で可決しました。

一般質問

▼質問 水道審議会で議論されている、村全体の水道計画の進捗状況、水道公社等の設立について伺います。
(井向 久昭議員)

▼答弁 水道審議会は、平成29年8月から開催し、共同飲料水の施設整備について、補助未交付地域の場合は、人口を主要な基準とすること、既交付地域の改修は、水源管理の労力を軽減するため、ウォータースクリーンの設置を優先すること、1、2軒の小規模水道は、必要な施設整備とともに、集落支援員による水源管理を継続していくことなどを決めて、30年度は、水道の維持管理の方向性を議論し、会議を進めています。

地元管理も含めた簡易水道の水道料金等の在り方が大きな課題ですが、村全体の水道整備に不公平感のないよう、今年度中に、水道計画の結論を出すべく取り組んでまいります。

また、以前から「水道公社」の考えをいただいています。水道の維持管理には、技術的に経験が必要であり、今すぐ組織を作つて必要な人数を揃えればやっていけるといふものでもありません。そのようなことから、支援員の拡充を図り、維持管理の支援を進めながら、どういった体制あるいは組織が適したものなのか検討し、村民の生活の安心のため、より良い水道管理の在り方を目指します。

▼質問 災害時における2次避難所のエアコン等の設置状況についてお伺いします。(大玉 和行議員)

▼答弁 村内の2次避難所の数は、34箇所あり、個人宅2軒を除く32箇所のうち、エアコンが未設置の場所は13箇所あります。このうち3箇所が大字にある公会堂や公民館です。

先日の台風21号では、158名の方が避難され、避難所の重要性が高まっていることを痛感しました。

台風、地震、災害はいつどこで起こるかわかりませんが、災害のたびに新たな課題が見つかります。今回の台風では、停電、寸断された道路と電話のまさにライフラインで、3日、4日と停電が続く地域には発電機を届けてしのいでもらいました。エアコンも必要ですが、動かすためには電気が必要です。それらを充実させていくことも課題があるとわかりました。

避難所の数や設備、防災拠点に関しても、まだまだ十分な状況にあるとは言えません。村としては、災害時の村民の安心・安全を確保するため、防災拠点を一箇所ではなく、リスクを分散させるために施設整備を考えています。

災害全般については、細かなところまですべてを一度に対応するのは難しい状況です。ポイントを絞り、重要緊急なところから前向きに検討したいと思います。

▼質問 村民大運動会は、次年度以降も継続されるのかお伺いします(温井 利一議員)

▼答弁 スポーツを通して村民の親睦と健康増進を図ることを目的として、平成25年度から開催しています。しかしながら、直近の3年間は、雨天や台風といった悪天候のため、開催できていない状況です。

今年度につきましても、8月末より立て続けに台風が直撃して、村内に大きな被害をもたらしました。未だ日常生活にご不便をおかけしている村民の方々がおられる状況から、何よりも村民の皆さんの気持ちに寄り添い、安全を最優先させて、残念ながら中止にさせていただきました。

大運動会に関しては、特に昨年度より、スポーツ推進委員の皆さんを中心として協議を重ね、学校對抗を取り入れるなど大幅に内容の見直しにも取り組んできました。

教育委員会といたしましても、結果的に4年連続で中止となつてしまっている現状や、昨年度、村が実施したアンケートによる開催の賛否や開催方法などのご意見も踏まえ、学校やPTA、各種団体の皆さんのご意見をいただき、議論を深めながら、過去の村体や今に続く駅伝大会のように、末永く村民の皆さんに親しんでいただけるような体育行事を考えていきたいと思っています。

▼質問 森林環境税及び森林環境贈与税についてお伺いします。(玉置 公三議員)

▼答弁 奈良県の森林環境税は、県土の保全、災害の防止、自然環境の保全、水源涵養、多くの公益的機能の重要性を鑑み、この役割を県民全体で守り育てるため、平成18年度から県民税均等割りに上乗せする方法で徴収されています。税収は年間約3億5千万円前後で推移しており、奈良県森林環境保全基金として運用され、主に、森林環境保全緊急間伐事業として県内の間伐に充てられ、十津川村では、世界遺産の小辺路周辺から施策を実施しています。

国の森林環境税及び森林環境譲与税は、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止など、地方財源を安定的に確保する観点から平成31年度税制改正において創設されるものです。

国の森林環境税は、都市、地方を通じて国民一人一人が等しく負担を分かち合つて、国民皆で森林を支える仕組みとして、個人住民税均等割の枠組みを活用し、市町村が個人住民税均等割りと合わせて平成36年度から年間千円の課税を行うものです。

また、森林環境譲与税は、森林現場における諸課題に早急に対応する必要があることから、平成31年度より地方の固有財源として譲与されることとなります。

▼質問 ホテル昴の運営についてお伺いします。(千葉 浩二議員)

▼答弁 ホテル昴は、村の雇用場や物産の消費などが目的で造られました。平成29年度においても、大変厳しい決算になりましたが、村にとつては必要なホテルであり、観光の拠点であることに変わりありません。

運営の改善に向けた具体策として、10月の初めまでには、財務会計面、人事、組織、労務面、あるいは集客に向けてのプロモーション計画について、しっかりと提案をして、運営を継続したいと考えています。そうした中で、パートの方々の処遇改善などについても、働きやすい環境を早く作り上げようと鋭意努力をしています。

ホテル昴は第3セクターなので、やはり村の中の雇用場であり、その場所でも本当に楽しく安心をして、村民の皆さんに働いてもらえようという環境を再構築していきたいと考えています。



「ふるさと共生」

来年度から専攻コースが改められ、新たなスタートをきる十津川高校――。

「普通コース」が「ふるさと共生コース」、「工芸コース」が「木工芸・美術コース」に変わり、全ての生徒を特色選抜（2月入試）で全国募集します。

高校進学を考える子どもたちが「自分に自信をもちたい」、「やる気のある先生に学びたい」と考えるとき、十津川高校には皆さんの力になれる環境があり、教員がいます。

高校の取組の紹介や生徒と先生へのインタビューを通じて、十津川高校を未来につなげるためには何が必要なのか、なぜ地域とのつながりが大切なのかを皆さんと一緒に考える特集です。



ふるさと共生コース

十津川地域の現状や課題などを学習し、将来の十津川村、奈良県南部東部地域のみならず、全国各地域で教育、行政、福祉、医療、産業、防災などに携わることができる人材を育成します。

また、郷土の歴史、自然などを学習し、地域コミュニティと連携しながら、ボランティア（観光、福祉、高齢者、被災地など）や防災活動の実践的な活動を通して、将来の吉野熊野地域及び各地域の活性化に貢献できる人材を育成します。





取材・文＝鈴木 悠太、川本 悠



木工芸・美術コース

従来の木工芸の学習活動を通じて、木工芸の技術を高めるとともに、文化や伝統的な技術への理解が深い人材を育成します。

さらに、紀伊山地の霊場に囲まれた静かな環境の中で、美術の創造的な諸活動を通して、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力をもった人材育成にも取り組めます。

思いをカタチに、 そして未来に

十津川高校の生徒と先生が、自分たちの高校を守り、未来に残るための新しい取組が、今始まっています——。

生徒と先生が考える十津川高校の魅力とは、今後に向けた意気込みを語っていただきました。

Q 十津川高校に赴任した時の感想は？

——着任してすぐに改めて十津川高校の歴史と伝統の重さを感じました。

Q 十津川高校の魅力とは？

——大学への進学を目指す生徒が多く集まる学校に決して引けを取らない資質をもつ教員が揃っており、生徒には他校に比べて2倍も3倍もの時間をかけて勉強を教えてもらえるチャンスがあります。教員の資質で学校を選ぶとしたなら、十津川高校はその選択肢の一つだと考えます。

Q 今後に向けて頑張りたいとは？

——すでに本校では、十津川高校をより良くしていくために、教員一人ひとりの役割を決めて、プロジェクトチームを作りました。半年が経ち少しずつ成果が出てきました。これが続けていき、生徒と教員が一体となつて魅力ある十津川高校を作り上げていきたいです。

Q どんな学校にしていきたいか？

——生徒が自ら発案できる実践できる学校づくり。自信をもって行動することで、生きる力を養い、本当の意味で社会に役立つ人間を育てていきたいです。

Q 村内の小学生・中学生と保護者の方々にひと言

——本校には、大自然の中で、ゆつたりと自分のペースで勉強できる環境も整っています。全教員がじっくりと時間をかけて、一人ひとりの生徒に関わることができる学校です。本当の意味で子どもの力を伸ばすことを考えておられるのであれば、十津川高校に入学させていただくことも良い選択肢だと考えます。



十津川高等学校 校長
春田 晋司さん



十津川高等学校 生徒会長
汐崎 正樹さん(上野地出身)

Q 十津川高校に入学した時の感想は？

―寮に入り、身の回りのことを自分ですることが最初は大変で、村外からの同級生も多く不安もありましたが、先輩方が優しく接してくれたので、すぐに馴染むことができました。

Q 地域の方々との関わりについて

―今年度から、毎週水曜日に村内の小中学校などであいさつ運動をしています。最近子どもたちも徐々に慣れてきたのか、元気に挨拶を返してくれます。また、ボランティアクラブなどで地域のイベントに参加しています。

Q 十津川高校の魅力は？

―歴史と伝統がある学校です。人数は少ないですが、上下関係はありつつも学年を超えて仲が良いです。今年の体育祭は1・2・3年生の混合チームでより親睦が深まりました。

Q 今後に向けて頑張りたいこと

―私は大学に進学して、一度村を出ることになります。大学では経営学を勉強し、いろいろな経験をしたいと思っています。そして、卒業後は十津川村に帰ってきて、村の発展に貢献したいと考えています。



今年の体育大会後に撮った一枚。学年や生徒と先生の間を越えた一体感も十津川高校の魅力のひとつ。

奈良県下で高校の適正化が行われる中で、各校が独自の強みを打ち出し、他校にない学びの場をつくることが求められる時代に突入しました。150年を超える歴史と伝統のある十津川高校も特色を生かした取組を進めています。

「紀伊半島大水害が起きたとき、十津川村内外の多くの方に支援をいただきました。あれから7年、今度は我々が村を代表して被災地の災害ボランティアなどで恩返しをする番だと考えています」と春田校長は力を込めます。

高校を卒業した後、「何が十津川村のためにできるのか」自分で考え行動できる人を人でも多く育てること地域の人々とのつながりが強くなり、十津川高校の未来につながるのではないのでしょうか。

教育だより

第122号

【お問い合わせ】
村教育委員会事務局
TEL
0746(62)0067

シルバー運動会開催

いつまでも元気いっぱい!



10月25日、体育文化センターで第33回シルバー運動会を開催しました。
当初は6月の開催予定が、大雨によって秋に順延となり、参加者は24人と少人数でしたが、参加された皆さんは、輪投げやカローリング、ボウリングで、時には真剣に、また時に楽しみながら親睦を深められ、元気いっぱい笑い声の絶えない大会となりました。



ペットボトルで顕微鏡作り

大阪工業大学×十津川 親子理科教室

10月21日、大阪工業大学と連携し、親子理科教室を開催しました。
今年はペットボトルで顕微鏡を作り、植物や自分の細胞を観察しました。その後、筋肉が動く時に流れる電気も観察しました。
普段は見えないものが見える様子に、興味深く学習していました。

十津川キノコ図鑑

自然観察会

10月13日、21世紀の森・森林植物公園でキノコの観察会を開催しました。講師に十津川村史編さん委員会自然部会の調査員 佐野修治氏を迎え、直接キノコに触れながら、特性や種類について学びました。子ども達は観察し始めてからすぐに、キノコを見つけることができた「キノコ目」になって、大小たくさんのキノコを発見することができました。

中学校文化祭・合唱祭

合唱



10月27日、十津川中学校で第7回文化祭・合唱祭が開催されました。
かんぱんしょう
感孚風動(人を感動させ、感化すること)をテーマに、生徒らによる学年発表・有志発表・食品バザー・展示・合唱祭・よさこい踊りなどが行われ、保護者をはじめ多くの来校者で賑わいました。

郷土芸能を体験・継承

平谷・西川・出谷の芸能を学習

10月23日、十津川第二小学校で伝統芸能体験学習が行われました。

子どもたちは住む地区で分れて、平谷餅搗き踊り保存会から「餅つき踊り」、西川踊り保存会から「獅子神楽」、出谷踊り保存会から「川掘り節・出谷筏節」をそれぞれ教わりました。

学習の成果は、12月16日の学習発表会の中で披露します。



↑餅つき踊り
(平谷餅搗き踊り保存会)

→獅子神楽
(西川踊り保存会)



→川掘り節・筏節
(出谷踊り保存会)



かわせみ座人形劇公演

小学合同文化鑑賞会を開催

10月22日、文化芸術による子どもの育成事業として、かわせみ座による人形劇の公演を村内の小学生が鑑賞しました。

児童は「台詞がないのに、人形が生きているみたいで、かわせみ座による人形劇の公演を村内の小学生が鑑賞しました。」と熱心に人形の動きに見入りました。

劇団の人から子どもたちに向けて、「好きなことを見つけて夢を持ち、夢に向かってがんばってみてください」と励ましを受け、子どもたちにとって、大変貴重な一日となりました。



成人式のおしらせ

平成31年成人式の対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人です。

成人式の案内状の未着、左記の名簿に記載漏れ、また、氏名に間違いや変更がある場合は、教育課までご連絡ください。

※案内状は、村内中学校を卒業された人および村内に住民登録がある人に送付しています。

※村内小・中学校に短期間でも在学された人も出席できますのでご連絡ください。

平成31年 成人式

日時／平成31年1月3日(木)

午前9時30分 開式(午前9時 受付)

場所／十津川村 住民ホール

記念講演／講師:村崎太郎氏(日光さる軍団代表)

講演:「この人生の主人公はあなた」

猿回しの演技もあります。

乾 健三・今西 謙介・太田 和香・岡 朋佳
岡本 彪・小川実乃梨・小野 直輝・上垣 拓也
久保見裕平・栗原 華奈・下村 悠大・新谷亜夢留
新谷 晶・杉本 琴・竹原賢二郎・田邊 健
玉置 彩香・玉置秀太郎・玉置 瀨奈・中泉 光稀
中垣 夏紀・則本 蓮・林 真吾・林 宏樹
東 七海・福井 彩月・松實 奏良・森 紗緒里
森脇 智秋・山本 桃



小辺路(昴・伯母子岳間)を7時間で走破

10月14日、昴の郷をスタート・ゴールとした世界遺産「小辺路」を走る山岳マラソン「小辺路トレイルジャーニー」が行われました。

昴の郷から西中矢倉を通り三浦峠で折り返す三浦コース(延長28キロメートル)と伯母子岳で折り返す伯母子コース(延長57・8キロメートル)の2つのコースに189人が参加され、165人が完走されました。

伯母子コースは午前6時、三浦コースは午前8時に昴の郷を出発し、伯母子コースの1位のランナーは、7時間5分21秒で完走しました。

参加したランナーからは「台風の被害があつたとは思えないほど、きれいにコースが整備されていて、とても気持ちよく走ることができました」「コースタイプが小まめにつけられていて、愛のある大会だと思いました。また来たいです」と感想を話されました。



谷瀬で酒米の稲刈りが行われました



10月14日に大字谷瀬で、谷瀬地域受入協議会主催の酒米の稲刈り体験が行われました。この酒米は大字谷瀬の地域活性化プロジェクトとして栽培され、刈り取られた稲は脱穀し、純米酒「谷瀬」の原料となります。

稲刈り体験当日は、26人の参加者が、手鎌や機械を使つての稲刈りに汗を流しました。昼食には地元の特産品である高菜を使っためはりずしを食べ、谷瀬でのゆっくりとした時間を過ごされました。

南十津川少年剣道クラブが剣道大会で優勝



10月8日、第44回近畿少年剣道優勝大会が奈良市のならでん武道場(奈良市中央武道場)で開催され、南十津川少年剣道クラブが中学生の部で見事優勝しました。近畿から47チームが出場し、その中で1位に輝きました。今後も選手たちの活躍が楽しみです。

南十津川少年剣道クラブ

先鋒 山崎 航勢
次鋒 乾 さくら
中堅 玉置 隆治
副将 久保見 篤史
大将 桑田 虎太郎



地域の自主活動が評価されました

大字重里を中心とした高齢者の人たちが組織された自主活動グループ「山里の会（やまざとのかい）」が、内閣府の「平成30年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業」に選考されました。

山里の会は、高齢者同士の見守り活動や配食活動、健康体操等の健康維持に取り組み、積極的に社会参加活動に携わられたことが評価され、「社会活動参加部門」で事例紹介事業に選考されました。

会員の人たちは「エイジレス・ライフ実践事例として選考していただき、会員一同驚きと共に喜びを分かち合っています。これまでご指導いただいた先生をはじめ、地域の皆さんなど多くの人たちにお世話になり活動をしてきました。高齢化が進み地域住民が減少する中で、地域活動の重要性がますます高まっていると思います。これからも私たちの活動が細くとも長く維持できるように協力していきたいと思います。」と選考されたことを喜ばれ、今後の活動にも意気込んでおられました。

今回紹介した山里の会の他にも各地域で高齢者の人たちが自主的に集まり、元気にすごせる活動に取り組んでいます。

防災ヘリコプター訓練

10月15日、竹筒地区と内野地区のヘリポートで、防災ヘリコプターの訓練が行われました。

訓練は、更谷村長、中南消防団長、佐古副分団長が参加し、防災ヘリコプターに乗車し、竹筒地区と内野地区を往復しました。

現在村内には13箇所のヘリポートがあり、今後、救助や救急事案の際に活用が期待されます。



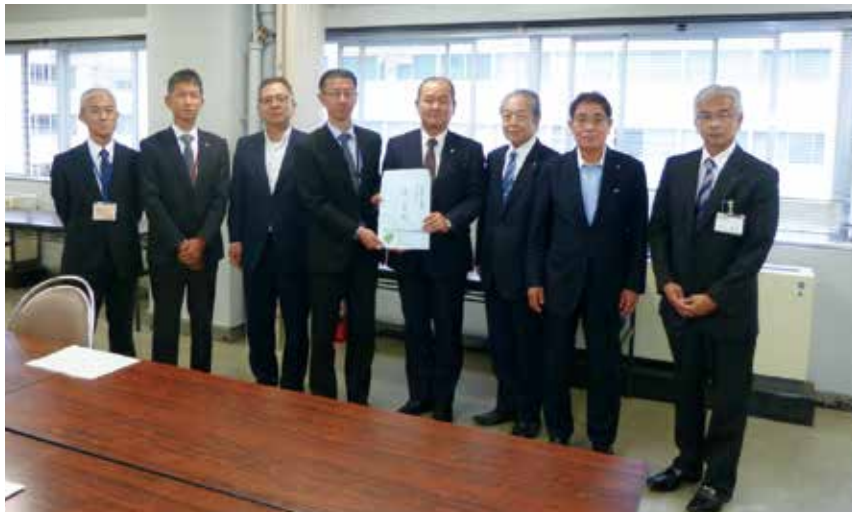
内野地区ヘリポートから竹筒地区ヘリポートに着陸する様子



国道168号線の早期整備を！

10月11日から12日まで、国道168号（五條新宮間）整備促進協議会（奈良県・和歌山県・三重県の11自治体で構成）による道路整備促進要望を行いました。また、内吉野土木協議会（五條市、野迫川村、十津川村で構成）による要望もあわせて行いました。

近畿地方整備局や財務省、国土交通省の幹部、各県選出の国会議員に対し、大雨や台風などによる道路被害が増えている中で、次の6点を強く要望しました。



近畿地方整備局への要望



財務省太田主計局長への要望

- ① 現在事業中の6工区（相賀高田工区、新天辻工区、十津川道路、長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、阪本工区）の早期完成
- ② 十津川道路（折立～豆市間）の平成31年度早期開通および十津川道路Ⅱ期（豆市～七色間）の早期事業化
- ③ 五條市新天辻工区の早期着手
- ④ 新宮市相賀高田工区の早期工事着手
- ⑤ 新宮市田長・相須工区の早期事業化
- ⑥ 国道168号の重要物流道路への指定

財務省と国土交通省への要望では、奈良県選出の田野瀬衆議院議員、堀井・佐藤参議院議員にも同行いただき、道路の必要性を強く後押ししていただきました。

財務省太田主計局長への要望では「移動手段が道路しかないこと、台風20号により国道425号線が決壊し、迫西川集落が孤立したこと、台風21号による停電が5日続いた地域があり、電気の復旧にも道路が必要であること」など、実例をあげて強く訴えました。主計局長からは、「国土強靱化を進めていかな」といけません。主計局長からは、「国土強靱化を進めていかな」といけません。主計局長からは、「国土強靱化を進めていかな」といけません。

国土交通省道路局長への要望では「道路の高規格化と道路予算の総額確保、国道168号の重要物流道路への指定」をお願いしました。道路局長から「国道168号線は紀伊半島で物流の基幹となる重要な道路である。地域高規格道路は重要物流道路に指定する予定である。点での整備を線での整備へとつなげていけるように着実に進めたい」との前向きな回答がありました。

国道168号線は「紀伊半島アンカールート」として紀伊半島の骨格を形成する路線です。整備された安全・安心な道路は必要不可欠です。今後も村民の皆さんの声が届けられるよう要望活動が続けていきます。



11月・12月は村税・県税の一斉滞納整理強化月間です

村税は、住民サービスを推進する上で非常に重要な財源です。滞納することは、大多数の納期内納税者の方々との公平性を欠くだけでなく、村の財政を圧迫し住民サービスに支障をきたすことになります。村は県の指導助言のもと、村税の納期限が過ぎても納付のない人に対して滞納処分をより強化しています。

◎滞納処分とは

村が滞納者の財産を差押えることです。

◎差押の対象となる財産

預貯金、給与、年金、生命保険、所得税還付金、土地、家屋、絵画、自動車 など

◎納税は国民の義務です

支払能力があるにもかかわらず遊興費・ローンの返済などを優先し、納税いただけない人などが滞納処分の対象となります。

◎納期内納付にご協力ください

村税の納付は納期の自主納付が原則です。納期限を過ぎた場合は督促状などの発送に経費がかかり、その経費も村税で負担することになります。納期の納付にご協力をお願いします。

◎延滞金について

延滞金は、納期内納付している大多数の人との公平性から課されるもので、納期限の翌日から完納の日までの日数に応じて計算され徴収します。

◎滞納処分までの流れ

納税通知書（納付書）発送

督促・催告

納期限を過ぎると督促状を発送します。延滞金が発生する場合があります。文書や電話などで納税の催告を行います。

財産調査

勤務先、金融機関、生命保険会社、官公庁などへ財産調査を行います。

滞納処分（財産差押）

再三の催告にも応じず、納税相談の連絡がない場合は、財産を差押えます。

換価

債権は原則即時で取立します。不動産については、公売により換価し、税に充当します。

村税滞納者の自動車に タイヤロックを装着します!!

(村税＝軽自動車税・村県民税・
固定資産税・国民健康保険税 など)



◎十津川村の村税滞納者に対する滞納整理状況(平成29年度中)

所得税還付金の差押…5件 預貯金の差押…1件 給与の差押…3件

◎十津川村の村税 収納率 (平成29年度現年分)

村県民税…99.7% 固定資産税…99.1% 軽自動車税…99.8% 国民健康保険税…99.0%

村税に滞納のある人は、所得税還付金をすべて差押えます

確定申告をしたことにより所得税が還付になる場合、村税に滞納のある人については、差押の手続を行ったうえで、すべて村税に充当します。差押えるにあたり、本人の承諾は必要ありません。なお、村税を分割納付していただいている人も所得税還付金差押の対象となります。

納税が困難な人は、一人で悩まず放置せず、早めに相談を

災害や家族の病気、失業などにより村税の納付が困難な場合は、一人で悩まず、放置せず早めにご相談ください。一括納付が難しい場合には、分割納付に応じることもできます。まずは納付できない理由をお聞かせください。

差押財産のインターネット公売を実施します！

村では、差押財産のインターネット公売を実施することになりました。

公売情報については、村のホームページや村報「とつかわ」に随時掲載されますので、そちらをご覧ください。

問合せ先 財政課 ☎0746(62)0903

お知らせ

【狩猟免許試験】※わな猟免許のみ

今年度最後の狩猟免許試験が次のとおり行われます。

なお、わな猟免許を取得し、村の捕獲実施者（駆除員）となる人を対象に、狩猟免許取得費用の一部を（社）奈良県猟友会十津川支部が助成します。

時

12月9日（日）

【適性試験・知識試験】

午前9時30分～午後0時30分

【技能試験】

午後1時30分～午後4時

※試験日の前日に講習会を開催

所

奈良県農業研究開発センター

交流・サロン棟

桜井市池之内130-1

申

試験、講習会の10日前（必着）までに、（社）奈良県猟友会へ申し込み

問

（社）奈良県猟友会十津川支部

支部長 宮村正美

☎0746・66・0354

事務局長 尾中宏彰

☎0746・62・0345

【11月12日～18日は不法投棄ゼロ作戦強化週間】

不法投棄は重大な犯罪です

きちんと分別してごみ集積場所に出せば適切に処理できるごみも、安易な気持ちで投棄すると重大な犯罪となります。法律でも重い罰則が定められていますので、身勝手な投棄は絶対にしないでください。

私有地に不法投棄されてしまった場合

原則として、投棄物は土地の所有者（管理者）が処理することになり、投棄物を処理するための費用は所有者の負担になります。不法投棄を未然に防止するためにも、みだりに人が立ち入れないように囲いを設けるなど、日ごろから土地の管理には十分な注意を心がけてください。

また、空き地に雑草が生い茂ると不法

投棄を助長する原因となりますので、定期的に草刈を行いましょう。

村で行っている不法投棄防止対策

・現地調査

不法投棄を発見した場合は、現地調査を行い、行為者の特定に至れば撤去指導等を行います。

・環境パトロール

奈良県から委嘱を受けた地域環境保全推進員（委嘱を受けた推進員4名・補助員4名）による村内全域における不法投棄の監視を行っています。

・関係機関との連携

不法投棄の状況によっては、警察署、県景観・環境総合センターおよびその他関係機関と連携を図りながら、不法投棄現場の調査を行っています。

問

住民課

☎0746・62・0900

一 庁 外 一
衛生センター 63-0391
小原診療所 63-0040
歴史民俗資料館 62-0137
し尿処理場 63-0291
上野地診療所 68-0207
体育文化センター 63-0067

観光協会 63-0200
泉湯 62-0090
温泉プール 64-0762
北部保健センター 68-0017
十津川警察庁舎 63-0110

一 役場以外 一
森林館(古ル野) 62-0567
滝の湯 62-0400
高森の郷 64-1800
森林組合 64-0301
五條消防十津川分署 64-1190

道の駅十津川郷 63-0003
庵の湯 64-1100
社会福祉協議会 64-0666
商工会 62-0132
五條消防大塔分署 0747-36-0317



情報広場です

マークの見方 申込み 日時 場所 お問い合わせ

お知らせ

「インターネット公売をします！」

村税の滞納処分として差し押さえた財産を官公庁インターネット公売システムで売却します。

公売方法

官公庁インターネット公売システムを利用したせり売り

参加申込期間

11月8日(木)午後1時から
11月21日(水)午後11時まで

公売期間

11月29日(木)午後1時から
12月2日(日)午後11時まで

買受代金納付期限

12月10日(月)午後2時

参加申込方法

11月8日より左記の官公庁オークションのホームページアドレスから行えます。
<https://koubai.auctions.yahoo.co.jp>

官公庁オークションに参加するには入札したい物件ごとに参加申込が必要です。
入札したい物件の詳細ページから参加申込を行ってください。

参加申込を行ったYahoo!IDでのみ入札できます。

参加条件

一部の例外を除き、20歳以上の人であればどなたでも参加いただけますが、公売補償金を納付していただくことが条件となります。詳しくは十津川村ホームページをご覧ください。

公売物件

軽自動車(スズキ ジムニー) 1台

下見会

公売物件を実際にご覧頂く機会として、下見を随時受け付けています。

落札された物件は返品交換が一切できませんので、下見で物件をご確認の上ご参加ください。

下見を希望される人は財政課までお問い合わせください。

その他

物件の詳細は、11月8日以降に十津川村ホームページに掲載します。

<https://www.vil.totsukawa.lg.jp>

財政課

☎0746・62・0903

「応急手当普及員講習開催」

応急手当普及員とは所属する事務所などで、消防機関と連携して救命講習の指導を実施する人のことです。受講を希望する人は、次のとおり申し込み込んでください。

時

平成31年1月30日(水)～2月1日(金)
午前9時～午後5時

所

かしはら安心パーク
檀原市東竹田町224番地の1

申

平成30年12月3日(月)～12月21日(金)の間で、五條消防署十津川分署に申込用紙がありますので、記入して提出してください。

奈良県広域消防組合ホームページ(<http://www.naraksk119.jp/>)でも申込用紙がダウンロードできます。

問

五條消防署十津川分署
☎0746・64・1190



役場代表
電話 0746(62)0001
FAX 0746(62)0210
IPフォン 050-5004-6720
050-5004-6721
050-5004-6722

総務(総務・防災)62-0001
(企画)62-0910
(観光)62-0004
産業(農業)62-0005
(林業)62-0909
教育 62-0003・62-0067

住民 62-0900・62-0911
財政 62-0903
建設 62-0033(直通)
(道路)62-0904
(ダム)62-0907
(水道)62-0908

福祉 62-0901・62-0902
施設 62-0905
出納 62-0906
庁舎3階
議会事務局 62-0002



国保だより

ジェネリック医薬品を活用しましょう!

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは?

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、最初に作られた薬(先発医薬品:新薬)と同じ有効成分を含む医薬品です。厚生労働省により新薬と効き目や安全性などが同等と認められています。

新薬より改良が進んでいる場合もあります

ジェネリック医薬品によっては、飲みやすさや副作用を抑える工夫などの改良が進んでいる場合もあります。

低価格で、患者さんの自己負担を軽減します

新薬の研究開発には、長い期間と数百億円規模の経費がかかります。ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品(新薬)開発により、すでに有効性や安全性が認められている有効成分を使い製品化するため、大幅に経費が抑えられます。このため低価格で、患者さんの負担を軽減できます。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)の処方を
希望する人は、かかりつけの医師、
または薬剤師にご相談ください。

今月は、国保税第**6**期の納期です。

納期限は**11月30日**ですので、納期内に忘れず納めましょう!

— お問い合わせ —

- ▶国保税に関することは・・・財 政 課 ☎0746(62)0903
- ▶保険証や医療に関することは・・・住 民 課 ☎0746(62)0911



備えあれば安心 日本の年金

日本の年金 その1 みんなで支え合うシステム

日本の公的年金制度は、老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負ったときや、一家の働き手が亡くなったときに、みんなで暮らしを支え合うという社会保険の考え方で作られた仕組みです。

みんなって誰？

日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人に、国民年金への加入義務があります。これを国民皆年金といいます。

どうやって支えるの？

みんなや会社が納める保険料に加え、国も拠出して、受給者の人の暮らしを支えます。

どんなシステム？

原則的には保険料を納めないで年金を受け取ることはできません。これを社会保険方式といいます。



【社会保険】

保険とは、保険料をみんなで拠出し、将来事故などが起きたときに集団で支え合う仕組みです。社会保険は、社会連帯の精神に基づき、病気、けが、出産、死亡、老齢、障害、失業など生活の困難に遭遇した場合に一定の給付を行い、生活の安定を図る公的な保険制度のことをいいます。日本では、年金、医療、介護、雇用、労災の5種類があります。

日本の年金 その2 老後の安心

● 少子化・核家族化に対応する年金制度

かつては、親と同居し家族で親を養っていましたが、少子化や核家族化の影響で、家族だけで親を養うことが難しくなっています。

➡ 社会全体で高齢者を支える年金制度を整備し、親の老後を国民が個々に心配することなく安心して暮らせるようになりました。

かつては…

経済成長の過程で…

現在は…



● 予測が難しい自分の寿命や経済変動にも対応

自分の寿命や人生のさまざまなリスク、また将来のお金の価値の変化など誰にも予測できない中で、貯蓄など個人の備えだけでは限界があります。

➡ 公的年金制度は、物価や賃金の動向に応じて給付の水準を改定し、私的な貯蓄などでは難しい、老後の安定した所得保障の役割を担っています。

お問い合わせ—— ▶大和高田年金事務所 ☎0745(22)3531
▶住民課(国民年金窓口) ☎0746(62)0900

平成30年度新規採用職員紹介 ～採用から6ヶ月経って～

①氏名 ②出身 ③所属 ④6ヶ月を振り返って ⑤今後頑張りたいこと



① 野依 かなな
② 奈良市
③ 総務課企画グループ

④ ようやく村の事や自分の仕事について分かってきたように思います。ふとした瞬間に四季の移ろいを身近に感じるに付け、十津川に来て良かったなと思っています。

⑤ 様々な事業を担当しています。分かりやすい説明と迅速な対応で、気持ち良く利用して頂けるように努めていきたいです。また、地域おこし協力隊の方々のサポートも担当しています。皆さんの活動を通して村の事をもっと学びたいと思います。



① 荒井 たいすけ
② 新宮市
③ 施設課

④ 最初に入庁したころは、職場や仕事への不安がありました。施設課での雰囲気がとても明るく馴染みやすい場所。上司の方々も優しく職場での不安はすぐになくなり、仕事に励むことができた半年です。

⑤ 十津川村には、多くの村有施設、村営住宅があり、建物を維持修繕していく上で、村民の方々の要望に応えられるように頑張りたいです。



① 塚 明日夏
② 田辺市本宮町
③ 施設課

④ 最初は毎日わからない事・始めての事ばかりで不安でしたが、先輩や上司の方々に優しくご指導していただき、とても勉強になった半年間でした。住民や役場の皆さんのお力になれるよう、ご指導していただいた事を忘れず、日々の業務を頑張りますのでよろしくお願ひします。

⑤ 住民の方とは窓口でお話する機会が少なく、電話でお話する機会が多いので、丁寧な電話対応を出来るよう心がけます。



① 大谷 実可
② 大字出谷
③ 小原保育所(保育士)

④ 中学卒業後から十津川を離れていたもので、久しぶりの故郷で豊かな自然に囲まれた生活は心がほっとします。

⑤ 自分自身も自然に親しみながら育ったので、十津川の大自然を活かして、子どもたちが自然に親しんで遊べるような保育がしたいです。



① 南 隆哲
② 山梨県甲斐市
③ 教育委員会(学芸員)

④ あつという間の半年間でした。十津川の生活に慣れるのに半年。仕事に慣れるのにも半年。まだわからないことがたくさんありますが、楽しく精一杯励んでいきたいです。

⑤ 『学芸員』という名前はあまり聞きなれないかもしれませんが、私の仕事は60年ぶりの『十津川村史』をつくることです。それだけではなくそこで得られたものを村の財産として、現代の村民の皆さん、そして後世の十津川村に伝え残していけるようにしたいです。



① 義 弘明
② 神戸市
③ 教育委員会(学芸員)

④ この4月から学芸員として、村の貴重な文化財や歴史を保存し、後世に伝えるための手助けをしています。少しずつ慣れてきましたが、まだまだ知らないことも多いので、色々教えていただけるとうれしいです。

⑤ 村の自然や歴史をまとめた『十津川村史』刊行のために日々頑張っています。村民の皆さんあつての事業ですので、今後調査をお願いする際は、どうかよろしく願ひいたします。



① 温井 郁子
② 大字桑畑
③ 十津川第一小学校(調理員)

④ 4月から初めての職場、新しい環境であつと言つ間に過ぎてしまった半年間でした。

⑤ まだまだ先輩方々にサポートして頂く毎日ではありますが、安全でおいしい給食を食べてもらえる様に頑張りたいです。



① 熊澤 育人
② 三田市
③ 十津川第一小学校(調理員)

④ 毎日子ども達の笑顔と元気をもらって楽しく仕事に取り組んでいます。十津川村は自然に囲まれて、空気、水がとてもおいしいので地元で育てた野菜を使った給食は格別です。その環境で仕事に取り組んでいる事がとても幸せです。

⑤ 安心、安全な給食を作る事を一番に考え、日々、衛生管理を徹底してお互いに声を掛け合っています。子ども達が楽しみにしている給食をより思ってもらう為にひと手間加えて子どもに喜んでもらえるように努力しています。

人のうごき

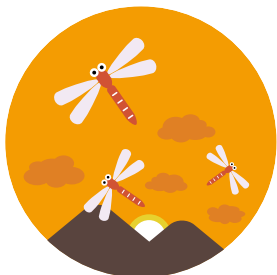
(敬称略)

おめでた

松尾 秋穂 (あきほ) 女 10月11日
父: 彪 母: 葵 (山崎)

おくやみ

東 ミエ 92歳 9月29日 (重 里)
杉坂 孝美 92歳 10月27日 (小 原)



役場人事異動(10月1日付)【 】は旧職

- 課長補佐級
- ▼浦恵・診療所事務長【財政課課長補佐】
- ▼森優子・福祉事務所次長【診療所事務長】
- 係長級
- ▼下野靖典・財務課係長【総務課係長】
- 主事級
- ▼岩本壮輔・教育委員会教育課主事【福祉事務所主事】

各月第3水曜日に開催! 無料法律相談

五條市の北本弁護士による

時 各月第3水曜日 14時～17時
所 役場第1会議室
(場所が変更される場合があります)
※毎月3人まで相談可。(電話予約が必要です)
問 五條本町法律事務所 北本弁護士まで
☎0747(22)8005

みなさまのご相談をお待ちしています



偶数月(4・6・8・10・12・2月)
の開催になります。



えな
上垣 恵那ちゃん(谷垣内)
11月6日生まれ(満2歳)
毎日癒しの笑顔进行がとう♡
これから姉ちゃん兄ちゃんと
仲良くね☆
父…幸治 母…小由里



きみか
岡田 季美佳ちゃん(五百瀬)
11月2日生まれ(2歳)
いつもニコニコきみちゃん!
素敵な女の子になってね。
父…亥早夫 母…七美



みお
杉川 実央ちゃん(猿飼)
10月16日生まれ(2歳)
ダンス大好き実央ちゃん!
看板娘でお仕事してね!
父…晃章 母…奏



いおり
温井 慈音ちゃん(大野)
11月15日生まれ(1歳)
イタズラ大好きイオちゃん♪
お兄ちゃんお姉ちゃんと
仲良く大きくな～れ!
父…潤也 母…弥生



ゆうじろう
小田 裕二郎ちゃん(武蔵)
11月8日生まれ(3歳)
お調子者だけど、ビビリ屋さん
心も身体も大きくな～れ!!
父…雄軌 母…萌美

お誕生日おめでとう!



今月の「とつかわテレビ」

11月の番組

○森林組合体験ツアー

9月15日に大字林で行われた森林組合体験ツアーを放送します。
木材加工流通センターでフローリング材ができるまでの過程や参加者の木工体験の様子をお楽しみください!



○交通安全グラウンドゴルフ大会

9月26日に昴の郷で行われた交通安全グラウンドゴルフ大会を放送します。
69人が参加され、ホールインワンも飛び出しました。あいにくのお天気に負けず実力を発揮される皆さんの様子をご覧ください。



来月のとつかわテレビ

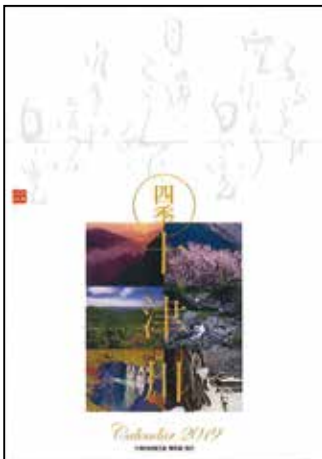
来月は、「十津川村老人クラブ尚歯会 創立50周年式典並びに祝賀会」
「防災ヘリ訓練」の予定です。お楽しみに♪

集落の絶景

紅葉する21世紀の森(大字小川)

写真:佐古金二郎(大字小原)

2019カレンダー
「四季十津川」



代 金:1部1,200円(送料込)
販売数:300部(売り切れ次第終了)
申込先:十津川村商工会
☎0746(62)0132

人権相談・行政相談 合同相談会の開催

人権と行政について合同相談会を開催しますので、ご利用ください。

時 12月5日(水)10時～12時
所 山村振興センター(大字武蔵)
問 住民課(☎0746-62-0900)



診療所からお知らせ



小原診療所
☎ 0746(63)0040
☎ 0746(62)0920

土曜診療日 受付／8:30～11:15

小原診療所	
11月24日(土)	第4週
12月8日(土)	第2週
12月22日(土)	第4週

整形外科診療日 受付／小 原 8:30～11:15
上野地 14:00～15:15

月 日	診療所
11月15日(木)午前	小 原 診療 所
12月6日(木)午前	小 原 診療 所
12月6日(木)午後	上野地診療所
12月20日(木)午前	小 原 診療 所

出張診療 診療時間／神納川・東中14:30～15:15
玉垣内14:00～15:30

場 所	期 日		
神納川地区生活改善センター	11/29(火)	12/11(火)	12/25(火)
東中公民館	12/13(木)		
玉垣内集会所	11/27(火)	12/4(火)	12/18(火)

税について ちょっと 考えてみよう! 「税を考える週間」

11月11日～11月17日

今年のテーマは
「くらしを支える税」です



国税庁のホームページでは
「国税庁の取組」や「税に関する情報」を紹介しています。

くわしくはこちら [税を考える週間](#) [検索](#)



国税庁
www.nta.go.jp

国税庁では以下の取組を実施しています

- 【社会保障・税番号制度】 制度の定着に向けて、周知・広報を実施しています。
- 【e-Tax】 平成31年1月から個人納税者のe-Tax利用がより便利になります。
- 【消費税の軽減税率制度】 準備が必要な事業者の皆様に対し、周知・広報を実施しています。

詳しくは国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)またはe-Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。



●人 口 3,317人(-10人)
男性 1,660人(-2人)
女性 1,657人(-8人)
●世帯数 1,784世帯(-7世帯)
【平成30年11月1日現在 ()は前月比】

使い切らない 空にしない 切らさない 1週間分の備蓄を日常に